

昨年2月、新型コロナウイルスの感染拡大が始まり、私たちの日常生活のスタイルが大幅に変わり、現在も続いています。そのため、部会活動にも色々な制約や影響がみられました(「子ども部会ニュース8号」の発行延期、支援力向上セミナー及び社会的養護関係者研修会、集合式会議の中止、等)。ここに、「令和2年度活動報告」をニュース前編に、「令和元年度活動実績」を後編に記して、「子ども部会ニュース8・9号」を発行します。

令和2年度の子ども部会のまとめ(北川部会長)

コロナ禍の中、参集が難しく、今年は子ども部会の活動もなかなかできませんでしたが、3月25日「コロナ禍における、不安をもつ人へのケア」というテーマで、ちくたく(子ども発達支援総合センター長)の上田先生(医師)のご協力でもオンラインで開催出来たことは感謝です。

札幌市内の事業所でもウィルスを持ち込まないための対策に追われ、大変な一年だったと思います。その中で多くの事業所は、学校が休校になっても子どものセーフティネットとして開所して子どものために努力した一年だったと思います。これからも大変な事態の中ではありますが、札幌市の障がいのある子ども達の尊厳が守られていくために、みんなで手をつないでいきましょう。

「子ども部会研修会(WEB研修会)」(事務局:麦の子会 金澤)

第9回子ども部会研修会をWEB方式で、3月25日(木)行いました。昨年からの感染拡大が懸念されている状況から、『コロナ禍における、不安をもつ人へのケア—子ども、保護者、職員への心理的ケア—』をテーマに、子ども発達支援総合センター 所長 上田敏彦氏を講師に、講義を頂きました。

講義の中では、最初に「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)」の特徴の説明を行い、「先行き不透明な時代における不安」と「自殺者の傾向(特に児童期)」について説明を受けました。次には「コロナ禍におけるうつ症状の増加傾向」や「児童精神科を受診したケースの特徴」等をお話し頂きました。後半では、「不安に対する対応を考えるために」と、3つのヒント(視点)から説明を受けました。1つは、「ネガティブ・ケイバリティ」で、「できないことを受け止める能力」です。2つ目は「オープンダイアログ」で、「開かれた対話」です。3つ目は、「トラウマ記憶と対話」です。最後には、「被災した子どもとの対話」を行う上での基本的姿勢を説明され、ありふれた結論と言いながら「分かったことを知る」「分からないことを知る」「無理しない対話」「揺れる気持ちへの共感」「葛藤と苦悩の受容」「自己決定の尊重」について話されました。

質問では、親子間での不安が強いケースへの基本的な対応方法や子どもと対話するうえでの配慮点等について、質問がありました。

全体を通し、この先行きが不透明な現在の状況では、不安を抱えることは自然なことであり、子どもと親、支援者は互いに尊重し、対話を通して、共感し、安心、安全感を得ることが、大切であることを、改めて確認する事ができました。

今回、初めて集合、対話方式の研修会ではなく、WEB方式での研修会開催になりました。参加者はZOOM参加25グループ、YouTube参加40グループで、約150名前後の関係者と家族の参加を得ました。



「令和2年度各区子ども部会の活動報告」(事務局: NPO 法人 ステップ・ハイステップ 中山・金澤)
令和2年度の「各区子ども部会の活動」は、感染症拡大予防による活動自粛により、活動自体は縮小せざるを得なかった現状です。ここに、各区毎の活動内容を報告し、白石区の活動を紹介します。

北区: 令和2年12月と令和3年3月に、ZOOMによる世話人会を開催。今後のこども部会の課題を協議し、広報誌を発行しました。

東区: 参集での活動は自粛。「将来を見すえた進学について～特別支援学校高等部について考える～」というテーマで、教育員会の協力を得て、入学選考についての情報発信を行いました。

手稲区: 令和3年2月19日 Zoomを使い「Online De 座談会」を開催(17名参加)。プロフィール紹介等で和やかな雰囲気での交流しました。

西区, 中央区, 豊平区, 南区, 清田区, 厚別区
感染拡大予防から、活動を自粛しました。

「白石区子ども部会の活動の報告」(白石区地域部会部会長・子ども部会委員 斉藤

令和2年度下半期に白石区子ども部会では、3本の研修会を開催しました。いずれもリアル集合+YouTube配信の研修会です。

○10月23日 『コロナ禍での児童虐待を未然に防ぐために』

講師—札幌乳児院児童家庭支援センター 安田徹さん, 札幌市白石区家庭児童相談担当 林わかなさん。43名参加。

○11月24日 『性教育を考える①～性同一性障害・LGBTへの理解と対応』

講師—HSA札幌ミーティング代表 日野由美さん。20名参加。

○12月18日 『性教育を考える②～子どもへの性被害を防ぐために』

講師—公認心理師 中泉美江さん(元小学校)。29名参加。



「令和元年度 子ども部会 活動実績」(事務局: 麦の子会 金澤)

- ・定例会を3回開催(7/1, 9/5, 12/11.)し、部会の活動方針の検討、課題抽出、整理を行う。
- ・部会内学習会を開催: テーマ「幼児教育・保育無償化」, 「障がい児保育」, 「児童相談所機能」等。
- ・社会的養護関係者事例検討会開催(9/24 約25名参加)。
- ・全体研修会開催(児童発達支援センター共催。テーマ「障がいのある子どもの青年期の現状と課題」12/10 約250名参加)。
- ・支援力向上セミナー開催(初級: 12/11—約65名参加, 中級: 1/22—約20名参加)。
- ・札幌市医療的ケア児支援検討会「事務局を障がい福祉課と協同担当
- ・札幌市子ども・子育て会議に参加し、意見提案
- ・札幌市要保護児導対策連絡協議会会議に参加し、意見提案